

杉並第一小学校等複合施設整備にかかる基本方針（案）について

杉並第一小学校等複合施設は、JR阿佐ヶ谷駅至近の立地利便性を生かし、土地の高度利用を図るとともに、阿佐谷地域の特性を踏まえ、より魅力のあるまちに発展していくための拠点施設として、以下のとおり整備を進めます。

1 複合化する施設

杉並第一小学校等複合施設の整備にあたっては、一の建物に以下の施設を併設するものとします。

- | | | |
|---|---|----------------|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) <u>杉並第一小学校（現地改築）</u> (2) <u>阿佐谷地域区民センター（移設）</u> (3) <u>産業商工会館（移設）</u> | } | （以下「区民施設」という。） |
|---|---|----------------|

2 整備コンセプト

子どもたちが健やかに育ち、多世代のつながりを育む「協奏する学び舎」

～阿佐谷地域の新たな学びと交流・文化の拠点～

子どもたちと地域の様々な人々がかかわりあいながら、子どもたちの健やかな成長を支え、地域の多世代の人々が様々な交流、地域コミュニティ活動、産業振興活動、文化活動を通して、地域のきずなを育み、新たな時代を拓いていく、「学びと交流・文化の拠点」となる機能を備えた施設を整備します。

杉並第一小学校と新たな区民施設が有機的につながり、協奏しながら、阿佐谷のまちを創る拠点づくりを目指します。

3 整備方針

(1) 杉並第一小学校

杉並区内で一番長い歴史・伝統を継承、発展させるとともに、地域の教育力に支えられた特色ある教育活動を踏まえながら、将来を見据えた教育環境の向上を図ります。

① 多様な教育に対応できる学習環境の整備

- 一斉指導、チームティーチング（TT）、個別・少人数指導、グループ学習など、多様な学習形態に柔軟に対応できる施設とします。
- ICT教育環境、校内情報ネットワーク、ラーニングセンター機能の充実など、「調べる」「学ぶ」「発表する」といった一連の学習が効果的に行える教育環境の充実を図ります。
- 複合施設の機能を可能な限り有効に活用することで、学校教育活動の幅が広がり、質が高まる施設づくりを行います。
- 子どもたちの体力向上が促進できるよう、現状と同等以上の校庭面積を確保するとともに、体を動かす場所として活用できる施設を充実していきます。
- 音楽室機能の充実を図るとともに、区民施設に設置されるホールと隣接するエリアに集約する施設づくりを行い、杉一小ジュニアバンドの活動を支えるとともに、阿佐谷ジャズストリートのパブリック会場としての使用を想定した施設・機能を整備します。

②安全・安心で、快適に過ごせる学習・生活空間の整備

- 学校の教室、諸施設等は低層階に配置し、児童の教室間移動の動線に配慮した学校づくりを行います。
- 不審者の侵入防止などの安全対策を十分に講じるとともに、多様な利用者が複合施設を利用することに伴う適切な動線計画に配慮した施設整備を行います。

- 子どもから高齢者まで多様な人々が利用しやすいユニバーサルデザインを取り入れた学校とします。
- 自然採光や通風などを積極的に取り入れ、太陽光発電等自然エネルギーの活用も図ることにより、エネルギー消費量を削減し、自然環境に配慮した環境教育に資する学校とします。
- 子どもたちの放課後等における健全育成環境の一層の充実を図るため、阿佐谷児童館内学童クラブ及び小学生の放課後等の居場所事業（放課後子ども教室）が小学校内で連携して実施できるよう必要な環境整備を行います。

③地域に開かれた学校づくり

- 地域の方々とのかかわりを深めながら、地域の力を最大限に生かした教育活動が進展するよう、施設機能が十分に発揮される学校とします。
- 学校の教育活動や子どもたちの放課後の過ごし方等に支障がない範囲で、地域の方々を利用できる学校施設とします。
- 災害時の地域の避難・復旧拠点として、必要となる防災機能が十分に発揮される施設とします。

(2) 区民施設

阿佐谷地域の新たな学び、交流・文化の拠点として多世代の人々が自主的に集い交流し、地域の活性化と区内産業の発展、まちの文化の振興を図ります。

① 新たな活動を生み出す地域コミュニティの拠点

- 様々な世代の多様な活動に対応できる集会機能を有することで、活動への支援や交流の推進を図り、新たな活動が生まれ、発展していくような地域コミュニティの拠点を目指します。
- 人々が語り、交流を深める場となるようカフェを設け、だれもが利用できるラウンジとの一体的な活用を図ります。
- 施設の整備にあたっては、多様な活動や、将来の施設利用のニーズの変化にも対応できるよう、1室の分割利用や多目的な用途への対応など、利用者のニーズに合わせた柔軟な使い方ができるような施設とします。
- 一般の利用者が学校の特別教室等を休日・夜間に利用する際は、セキュリティ対策として、利用受付や貸出時の施設管理を区民施設側に一元化し、教育環境の安全確保に努めます。

② 阿佐谷の魅力を発信する地域文化の拠点

- 阿佐谷文化を末永く継承していくため、七夕まつりやジャズストリートなどの様々なイベントにも有効活用できる施設とし、新たな人材の地域活動への参加を促します。
- 子どもたちが地域に根ざした七夕まつりやジャズストリートなどの文化活動に参加するなど、自らの成長を実感し、文化に触れる喜びが得られる取組を促進できるよう、学校の教育活動にも活用することを視野に入れた施設とします。

③ にぎわいと商機を創出する産業振興の拠点

- 展示室やホールを活用した展示会、セミナー、異業種交流会などの開催により、区内事業者の新たなビジネスチャンスにつながる機会を創出する拠点とします。
- 交通至便な立地を生かし、アンテナショップ等に活用できるイベントスペースを整備し、杉並第一小学校のキャリア教育での活用や、区内事業者や交流自治体等の生産品等の販売・展示をするなど、区内産業の情報発信や交流自治体等との交流が促進される施設とします。